

# 飼育日誌

1/1	ニホンイヌワシ	第1ペア、交尾時の鳴き声あり。巢材の撤入もあり。第2ペア2羽で巢の縁に止まっていることが多い。巢いじりもあり。
1/4	カナダヤマアラシ	2頭寄り添いながら採食あり。(撤入後初めて)
1/5	アフリカゾウ	伏臥に手こずる。採尿。
1/6	キリン	カンタ死亡後、リンリンとケイタ、過敏な状態となっている。
1/8	グリーンイグアナ	爪切り。
1/9	ワタボウシタマリン	麻酔下ギブス治療。
1/11	ミーアキャット	川原群、母親妊娠判定のレントゲン撮影。母親、妊娠確定。
1/13	アメリカビーバー	チャト♀、麻酔下で歯切り・陽と月の2頭にマイクロチップ挿入
1/15	アナグマ	いけだみ、冬ごもりのため、絶食。
	ユキヒョウ	通路下にて網越しで見合い。アサヒの攻撃性見られず。反応良好。
1/16	ユキヒョウ	アサヒ♀、発情兆候あり・鳴き。
1/18	ユキヒョウ	同居(2日目)。同居時の2頭の関係性が良化した。
1/21	ニホンコウノトリ	営業行動。
	ユキヒョウ	同居(5日目)。
1/22	キリン	ケイタ♂、パドックオープン時、興奮し暴走状態となる。(積雪影響)
1/23	ノジロオマキザル	ナナエ♀、朝、動きが悪い。エアコン設定温度26℃→30℃にし保温球設置すると動き出る。
	ミーアキャット	母、出産に備え産箱へ移動。
1/24	アフリカタテガミヤマアラシ	交尾確認。
1/29	ニホンイヌワシ	第2ペア、不完全な交尾は数回確認。
2/2	アフリカゾウ	左耳採血可能か確認。採尿・採糞・採血。アンクレットにチェーン付ける練習開始。
2/4	ミーアキャット	死亡(出生正確数不明だが、死体は2匹確認)。
2/10	アフリカゾウ	ホルモン剤投与試験。
2/15	イヌワシ	たつ子♀、3卵目の抱卵確認(※確認日)。
2/18	ケヅメリクガメ	フミヤ♂、採食戻らないため、温浴再開。尿酸排泄確認。
2/20	ニホンイヌワシ	西目♀、2卵目の産卵(15:50:07)を確認。
2/22	モリアオガエル	♀、新たに泡巢の排泄あり。腹部の膨らみほとんどなし。
2/23	ユキヒョウ	アサヒ♀、発情兆候を確認する。
2/24	アフリカゾウ	ホルモン剤投与試験2回目。軟便、整腸剤投与1日目。
3/2	ニホンリス	♀の発情。①②、③④を同居。
3/5	ミニブタ	とん平♂、朝一大きめのてんかんあり。異常なてんかんの長さ。
	イワシャコ	新成♀、鳥インフルエンザ検査(陰性)、旋回行動あり、右眼瞼浮腫、角膜穿孔の可能性あり。
3/8	ツキノワグマ	冬ごもり管理終了(給餌開始)。
3/11	アナグマ	いけだみ、冬ごもりから起きる。
3/12	ニホンイヌワシ	西目♀、抱卵放棄、採卵する。第1ペアへ移卵、第1ペア卵採卵。
3/13	フンボルトペンギン	繁殖ペア(右紫♀×左青黄♀)のA卵を仮親(右青黄♀×左緑白♀)の巣に移動。
3/14	トナカイ	ルミ♀、右角落角。
3/17	チンパンジー	ボンタ、コタロウ、J太郎、地震の影響あり。ルイ♀皮膚治療薬内服。
3/22	ジャンボウサギ	新規個体3頭検査終了。ふれあいに移動。
	アフリカゾウ	体中のアカギレ、擦過傷が目立つ。整腸剤(ピオスリー300g/日投与)27日目。
3/24	ヒツジ	ルバ♀、起立不可のため吊り下げ式の担架を設置。

## お客さまの声

4/6 動物園に行く、明日から仕事も学校も頑張れる。行けば行くほど元気をもらっています。子どもと喧嘩した後に動物の親子を見ると、「あー怒り過ぎたか」と反省しています。

4/9 天空の楽猿、何度入ってもいいですね。お気に入りのスポットです。前はよくおとなりさんとケンカしていたブラザグエノン、おとなりさんが変わって少し落ち着いたように思います。

4/23 いつも幸せな時間になります。家族にとって大切な場所です。ありがとうございます。

5/11 動物たちは、飼育員さんの愛をたっぷりもらって幸せですね。

6/4 説明がわかりやすいです。シンリンオオカミの説明は、オオカミを取り巻く現状が伝わりました。

6/12 いつ来てもキレイで頭が下がります。エントランスの花壇がとてもカラフルで、「動物園をまわるぞ!」と気合いが入ります。

3/30	ライオン	ロア♀、麻酔下にて四肢の爪切り実施。
4/1	レッサーパンダ	ケンシン♀、午前中頻繁に恋鳴き。ひなた♂、左耳耳介に傷あり、インジン球で消毒。
	コツメカワウソ	キトラ、たまごの♀2頭ダイエット開始。
4/3	カナダヤマアラシ	モズク♂、体重測定9.20kg
4/5	ライオン	マンゴー♀、展示場で嘔吐できず卒倒し一時呼吸停止、自力回復後急遽収容。
4/13	マーコール	ゆべし♀、腹部大きい。
4/17	カナダヤマアラシ	メーブル♀、発情か?
4/20	アメリカビーバー	性別チェック。チャルは♀と再確認。
4/23	アフリカゾウ	起立不能、治療。
4/27	ユキヒョウ	アサヒ♀、巣箱に入る頻度、時間増加。
4/28	シンリンオオカミ	シン♂、14時頃と16時半頃にてんかん発作の痙攣を起こす。抗てんかん薬内服投与実施。
5/1	アフリカゾウ	少々軟便になってきた。夜間泊まっていた観察は昨夜で終了。
	インコ舎	急な低温の影響と思われる個体の異常を確認したため、サッシ再設置。
5/3	ホンドキツネ	採食全くなし。水様便1カ所、血が混ざった粘液便と思われるもの1カ所あり。
5/4	レッサーパンダ	ユウタ♂、一時、下半身に力が入らず腰砕け状態になり歩行困難。
5/9	ニホンコウノトリ	卵を孵卵器に移動。検卵の結果3卵が有精、1卵が無精。
5/11	ユキヒョウ	子、10日22時頃に右目の開眼をモニターで確認。
5/15	キリン	ケイタ♂、ハズバンダリートレーニング本格開始。
5/16	フクロテナガザル	天、陰囊部に毛が生えてきていたことから、性別はオスと確定。
5/17	エミュー	隣県で高病原性鳥インフルエンザ発生したため、展示場ネット張り作業(飼育全体作業)。
5/19	ユキヒョウ	仔、体重測定・性別判定実施。メスと確定。
5/21	アフリカゾウ	夜間休息時間確認。
5/27	トナカイ	ルイ♂、起立困難。2度起立補助して起立させる。
5/29	ゼニタナゴ	FRP保全池、稚魚浮出。約120尾。
5/30	ニホンコウノトリ	擬卵撤去。
	アムールトラ	令♀、麻酔からの覚醒に時間が掛かり撤出延期。
6/2	アフリカゾウ	伏せできた。左前肢爪付け根から排膿。
6/4	アフリカゾウ	左前肢爪付け根レントゲン撮影。
	ユキヒョウ	仔♀、産箱の前室に移動するようになった。
6/5	ハリネズミ	病院からふれあい事務所に移動。
6/6	マーコール	ゆべし♀、乳房大きく見える。
6/12	マーコール	子授乳確認。
6/14	シンリンオオカミ	シン♂、病院(病室3)に移動。箱入れ、病院収容いずれもスムーズに完了。
6/15	ユキヒョウ	仔♀、アサヒ♀の持ってきたプロイラーに興味を示し、食べる動作を見せる。
6/16	アフリカゾウ	軽いアタック行動。
6/19	マーコール	仔、草採食している様子。
6/21	シンリンオオカミ	ジュディー♀、麻酔下病院移動する。
6/22	シュバシコウ	移動(越冬舎→旧シュバシコウ舎)。
	キョン	♀、同居訓練。
6/24	カナダヤマアラシ	メーブル♀、体重僅かに増。
6/30	ユキヒョウ	仔♀、ワクチン摂取・マイクロチップ埋込・性別判定他健康チェック。
7/5	ホッキョクオオカミ	ムーン♂、午後から展示場への展示訓練(初)。放飼・収容スムーズ。
7/7	カリフォルニアアシカ	9時頃、繁殖に伴う雌雄の変化を確認。監視下で同居から分離まで実施(交尾確認)。
7/10	マーコール	クルミ♀、同居。
7/12	シンリンオオカミ	シン♂、反応・動き、採食量低下。左肩と右腰部に褥瘡形成。
7/17	ニホンイヌワシ	信濃×たつ子、猛禽舎工事のため、イヌワシ保全棟へ移動・体重測定作業。
7/28	ホッキョクオオカミ	ニッキー妹・ルーシー姉、朝、2頭で外展示場に出す。

## かたばた通信

来年の開園50周年を記念し、正面ゲートの前に記念モニュメントを設置します。「大森山アートプロジェクト」を共同で行う秋田公立美術大学生のほか、台湾・韓国の学生からもデザイン案を募り、選考で選ばれた作品を来年3月の開園セレモニーでお披露目をする予定です。果たしてどんな作品が出来上がるのか、どうぞお楽しみに!(金)

